



HOKURIKU

2026年3月期 第2四半期 決算説明資料

2025年11月10日
北陸電気工業株式会社
(証券コード：6989)

➤ 1. 2025年度（2026年3月期）上期業績報告

➤ 2. 2025年度（2026年3月期）通期業績予想

➤ 3. 企業価値向上に向けた取組み

➤ 4. トピックス



1. 2025年度（2026年3月期）上期業績報告

- ・業績概要
- ・製品別売上高
- ・市場別売上高
- ・営業利益の増減要因（対前年同期比）
- ・貸借対照表
- ・キャッシュ・フロー

業績概要

- ▶ 売上高 206.3億円 前年同期比 ▲7.9億円
- ▶ 営業利益 13.2億円 前年同期比 +0.7億円
- ▶ 経常利益 13.7億円 前年同期比 +4.3億円
- ▶ 親会社株主に帰属する中間純利益 10.5億円 前年同期比 +2.7億円

(単位：億円)

	2024年度 上期実績	2025年度 上期実績	前年同期比	
			増減	%
売上高	214.2	206.3	▲7.9	▲3.7
営業利益	12.5	13.2	+0.7	+5.7
営業利益率	5.8%	6.4%	—	—
経常利益	9.4	13.7	+4.3	+45.8
親会社株主に帰属する中間純利益	7.8	10.5	+2.7	+34.9
為替レート(期末) 1US\$ = 円	142.73	148.88	—	—



製品別売上高

- モジュール EV向けの失速およびモビリティ用ディスプレイパネル向けが減少
- 電子部品デバイス 抵抗器、ピエゾ製品およびセンサなどが増加

モジュール

売上高 108.2億円

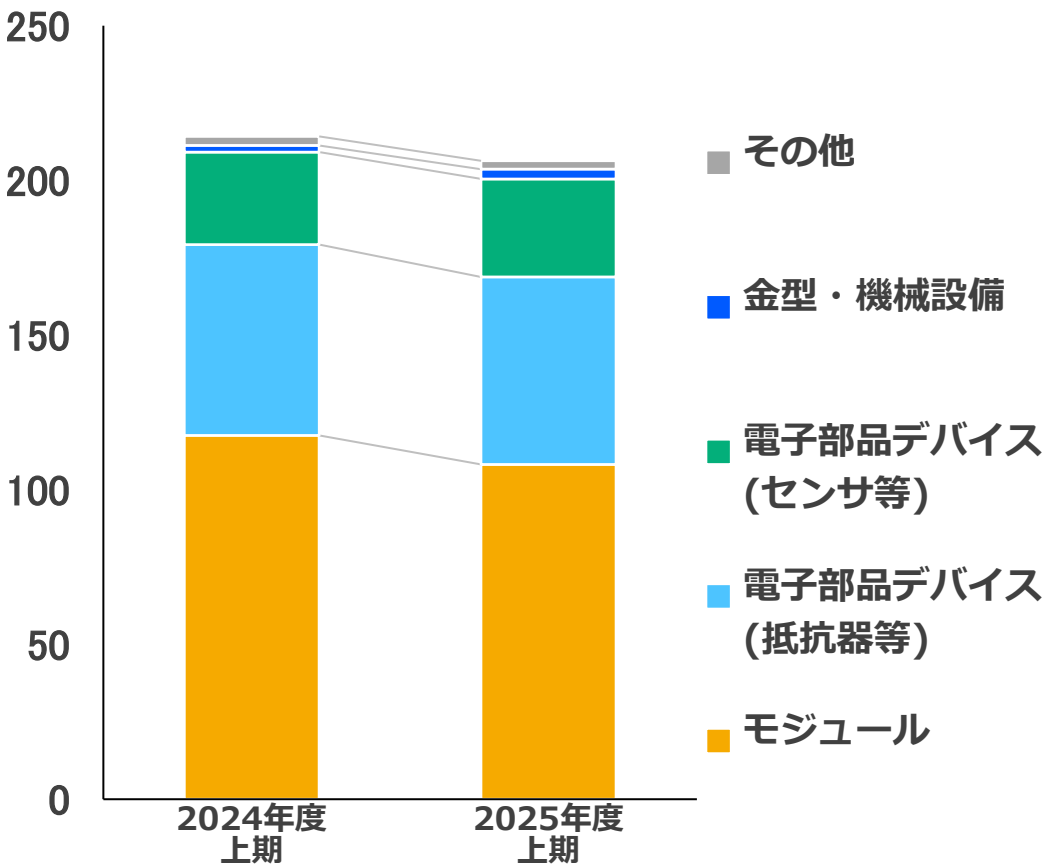
前年同期比 ▲9.4億円

電子部品デバイス

売上高 92.3億円

前年同期比 +0.7億円

	2024年度 上期		2025年度 上期		前年同期比	
	実績	%	実績	%	増減	%
モジュール	117.6	54.9	108.2	52.4	▲9.4	▲8.0
電子部品デバイス (抵抗器等)	61.7	28.8	60.6	29.4	▲1.1	▲1.8
電子部品デバイス (センサ等)	29.9	14.0	31.7	15.4	+1.8	+6.1
金型・機械設備	2.1	1.0	3.1	1.5	+1.0	+46.9
その他	2.9	1.4	2.7	1.3	▲0.2	▲7.0
合計	214.2	100.0	206.3	100.0	▲7.9	▲3.7



市場別売上高

▶ モビリティ

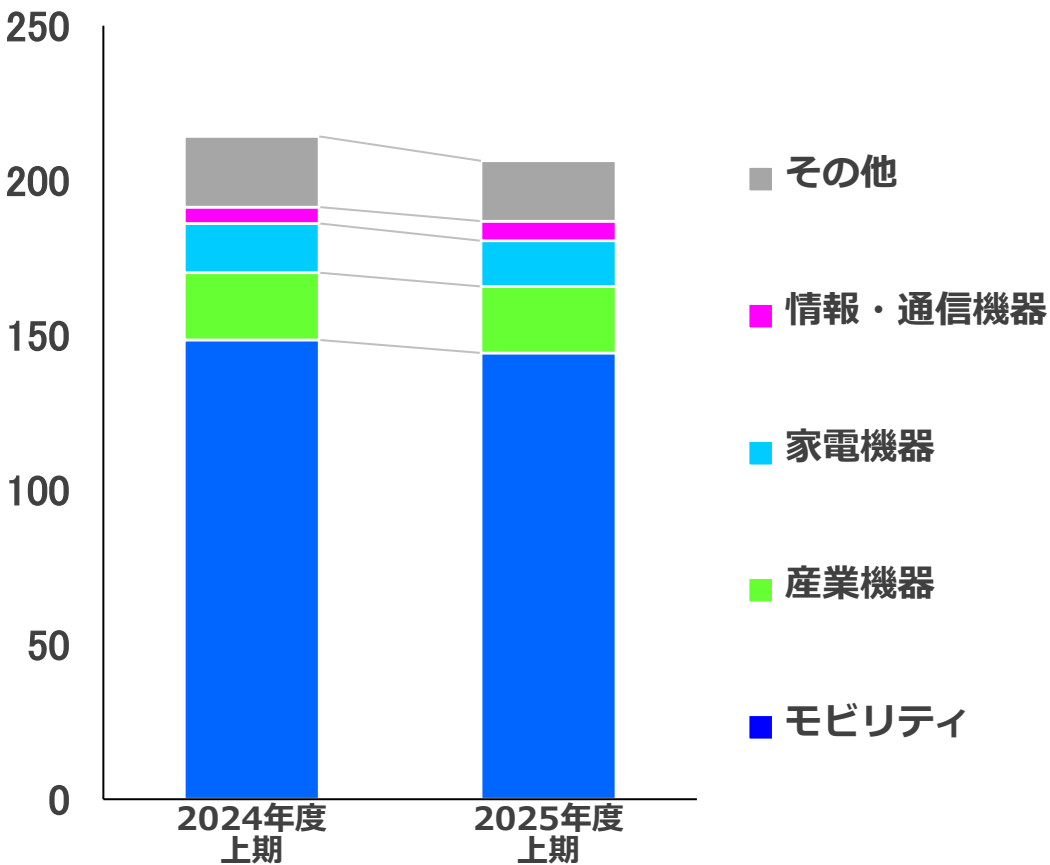
新市場・新顧客向けで増加したものの、EVおよびディスプレイパネル向けが減少

▶ 産業機器、家電機器、情報・通信機器、その他

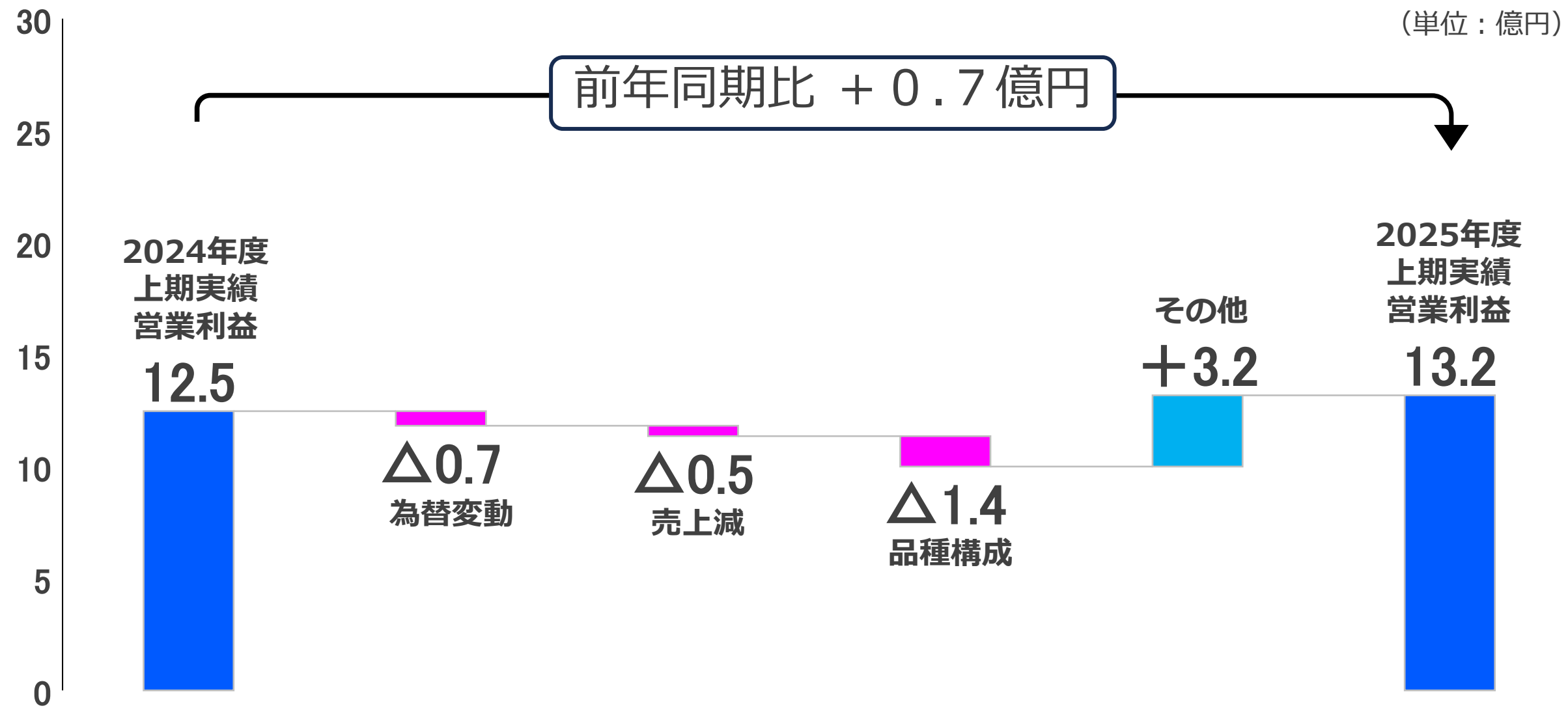
産業機器および家電機器向けは円高を主因に減少、情報・通信機器向けはデータセンター向けで増加

(単位：億円)

	2024年度 上期		2025年度 上期		前年同期比	
	実績	%	実績	%	増減	%
モビリティ	148.4	69.3	144.2	69.9	▲4.2	▲2.8
産業機器	21.7	10.2	21.5	10.4	▲0.3	▲1.2
家電機器	15.9	7.4	14.8	7.2	▲1.1	▲7.2
情報・通信機器	5.3	2.5	6.3	3.1	+1.1	+19.9
その他	22.8	10.7	19.5	9.5	▲3.3	▲14.6
合計	214.2	100.0	206.3	100.0	▲7.9	▲3.7



営業利益の増減要因（対前年同期比）



貸借対照表

- ▶ 総資産は、現預金の減少を主因に 8 1 5 百万円の減少
- ▶ 負債は、借入金の純減を主因に 8 6 5 百万円の減少

(単位：百万円)

	2024年度通期 (3月末)	2025年度上期 (9月末)	増減
流動資産	30,625	29,734	△891
現金及び預金	11,931	11,024	△907
受取手形及び売掛金	8,650	9,003	+353
棚卸資産	8,108	8,490	+382
固定資産	12,569	12,645	+75
資産合計	43,195	42,380	△815
流動負債	11,279	11,750	+470
支払手形及び買掛金	5,802	5,680	△121
固定負債	9,202	7,866	△1,336
負債合計	20,482	19,616	△865
借入金	8,736	7,840	△896
純資産合計	22,713	22,763	+49
負債・純資産合計	43,195	42,380	△815

▶ 純資産は、
4 9 百万円の増加

主な内訳

・親会社株主に帰属する
中間純利益

+ 1,051

・剰余金の配当

△ 713

・自己株式の取得および処分

△ 119

・アジア通貨安円高による
為替換算調整勘定の減少

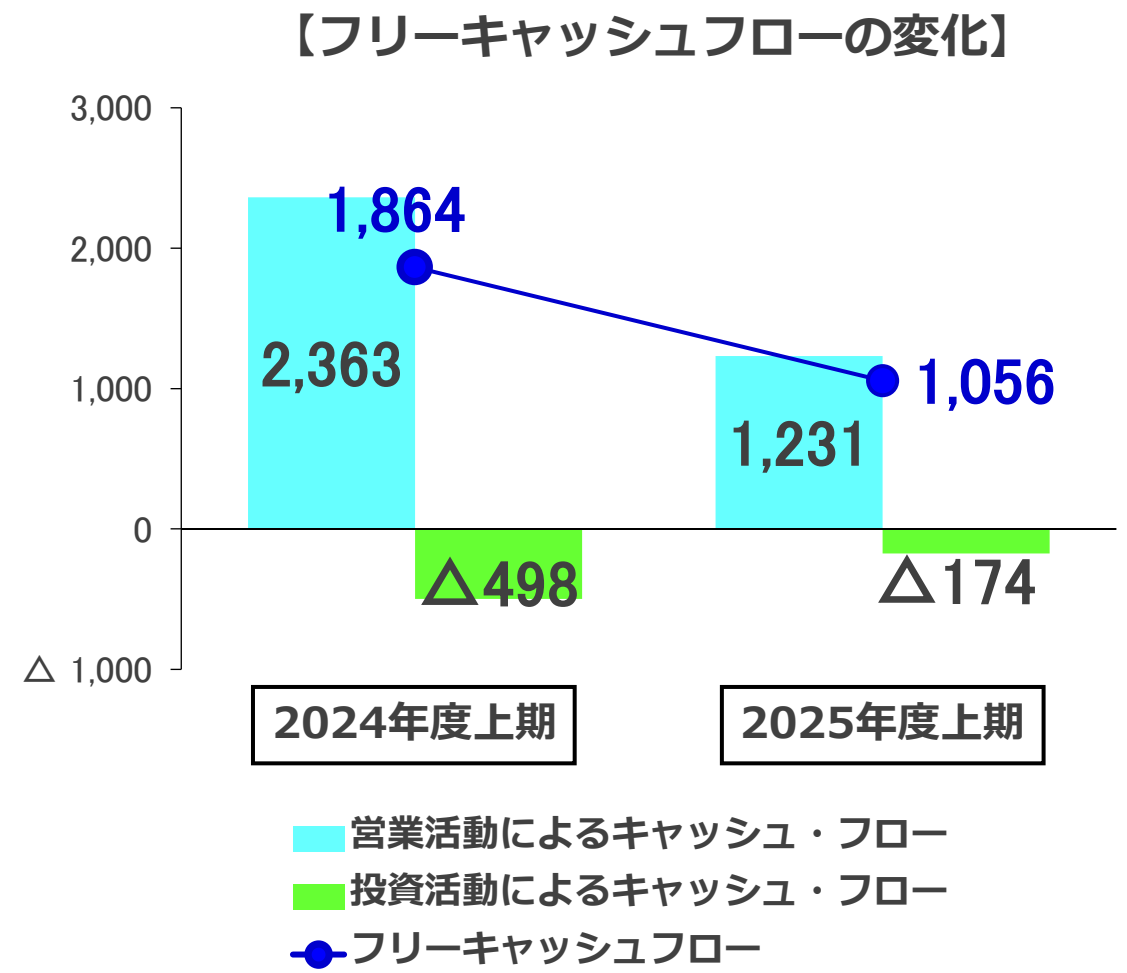
△ 417

キャッシュ・フロー

- ▶ 営業C F 売上債権および棚卸資産の増加
- ▶ 投資C F 固定資産の取得による支出等
- ▶ 財務C F 借入金の純減、配当金の支払い

(単位：百万円)

	2024年度 上期	2025年度 上期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	2,363	1,231	△1,132
投資活動による キャッシュ・フロー	△498	△174	+324
フリーキャッシュフロー	1,864	1,056	△808
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,280	△1,763	△483
現金及び現金同等物の 中間期末残高	8,922	8,269	△653





2. 2025年度（2026年3月期）通期業績予想

- ・ 事業環境
- ・ 業績予想
- ・ 営業利益の増減要因（対前年実績）
- ・ 設備投資額 / 減価償却費 / 研究開発費

■ 2025年度 期初想定

◇ 世界経済

- ・ 米国による関税政策の発動や地政学的な緊張など、先行きは不透明感が強い状況が続く見込み

◇ エレクトロニクス市場

- ・ モビリティ分野は、電動車の減速などの影響により部品需要が鈍化傾向にあるものの、電動化の進展に伴う技術革新が続き、中長期的には需要拡大が見込まれる
- ・ 産業機器、民生機器等の分野は、中国経済低迷などの影響により弱含みで推移、期後半にかけて緩やかな需要回復を想定

■ 現時点の見通し

◇ 世界経済

- ・ 米国の関税引き上げや中国経済減速など、依然として不透明な状況が続く

◇ エレクトロニクス市場

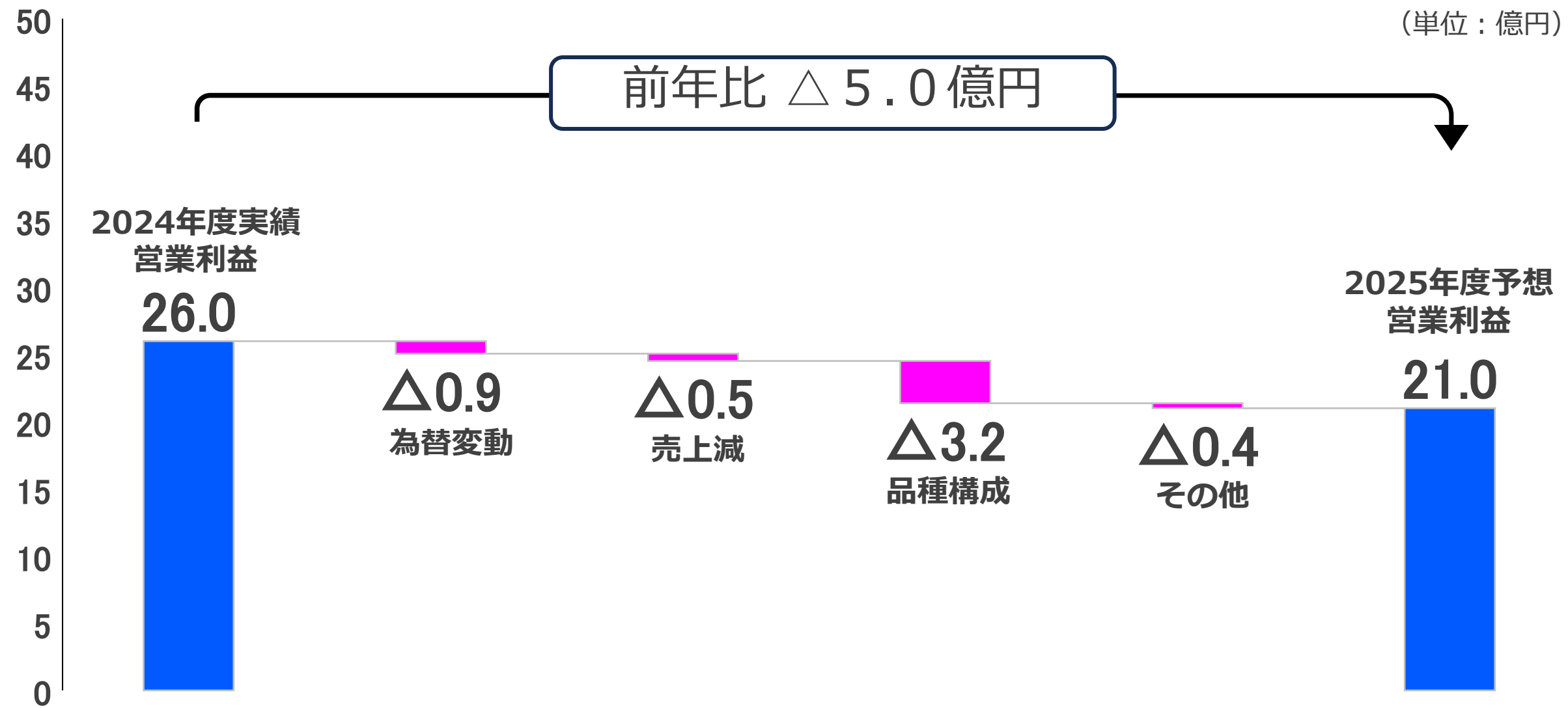
- ・ モビリティ分野は、EVの失速がみられるものの、xEV市場全体での部品需要は堅調に推移
- ・ 産業機器、民生機器等の分野は、AI関連が拡大しているものの、全体としては緩やかな需要回復を想定

業績予想

- ▶ モビリティ新分野やデータセンター向けなどにおいて着実な需要の取り込みを図っており、各品種概ね計画通りに推移
 - ▶ 市場環境は米国の関税引上げや中国経済の減速などを背景に不透明な状況にあるものの、為替相場が円安にシフトしたことから、通期の売上高および各利益の予想を上方修正
 - ▶ 想定為替レートを1ドル＝140円から147円へ変更
- (単位：億円)

	2024年度 通期実績	2025年度 通期予想(期初)	2025年度 通期予想(今回)	前年比	
				増減	%
売上高	431.9	408.0	423.0	▲8.9	▲2.1
営業利益	26.0	20.0	21.0	▲5.0	▲19.3
営業利益率	6.0%	4.9%	5.0%	—	—
経常利益	28.5	17.0	21.0	▲7.5	▲26.3
親会社株主に帰属する当期純利益	21.9	12.0	16.0	▲5.9	▲27.1
為替レート(期末) 1US\$＝円	149.52	140.00	147.00	—	—

営業利益の増減要因（対前年実績）



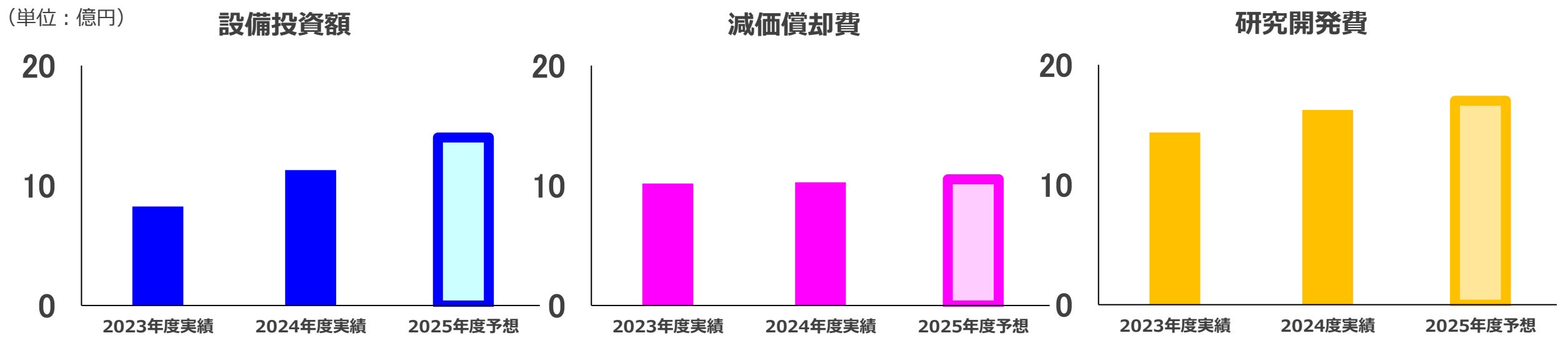
設備投資額 / 減価償却費 / 研究開発費

- ▶ 設備投資は、主にASEAN拠点の拡充および生産設備の増強により増加 前年比+ 2.7 億円
- ▶ 研究開発は、引き続き新センサや社会課題解決製品の開発に注力

(単位：億円)

	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度		前年比	
			上期実績	通期予想	増減	%
設備投資額	8.3	11.3	9.2	14.0	+2.7	+24.1
減価償却費	10.2	10.3	5.2	10.5	+0.2	+2.5
研究開発費	14.4	16.2	7.3	17.0	+0.8	+4.7

- 主な設備投資
 - ・ ASEAN拠点拡充、生産設備増強
 - ・ DX、IT関連投資
 - ・ サステナビリティ関連投資(省エネ設備等)
- 主な開発投資
 - ・ 新センサの開発
 - ・ 社会課題解決に寄与する製品開発(環境配慮型製品、IoT関連製品など)



3. 企業価値向上に向けた取組み

- ・ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応状況(アップデート)
- ・ 株主還元

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応状況(アップデート)

■ P B R 1 倍以上を目指した取組方針

- ① R O E 1 0 % 以上
 - ・ コア事業の進化と新製品創出に経営資源を集中し、収益を拡大
 - ・ 増配および自己株式の取得等により、株主還元を強化し、資本効率を向上
- ② P E R 1 0 倍以上
 - ・ 持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、経営・事業戦略を推進
 - ・ コーポレート・ガバナンスを一層強化し、サステナビリティ経営を推進するとともに、I R 活動を強化

	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度	
				上期実績	通期予想 (注)
売上高 (百万円)	45,459	40,811	43,185	20,633	42,300
営業利益 (百万円)	2,941	2,271	2,600	1,318	2,100
営業利益率 (%)	6.5	5.6	6.0	6.4	5.0
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	647	2,538	2,194	1,051	1,600
自己資本利益率 (R O E) (%)	3.9	13.6	10.3	—	7.0
株価 (終値) (円) (時点)	1,362 ('23/3末)	1,418 ('24/3末)	1,477 ('25/3末)	2,150 ('25/9末)	—
株価収益率 (P E R) (倍)	17.6	4.6	5.5	—	—
株価純資産倍率 (P B R) (倍)	0.7	0.6	0.5	0.7	—

(注) 2025年11月10日公表の通期業績予想に基づく

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応状況(アップデート)

■ キャピタル・アロケーション

・ 設備投資と株主還元への配分をバランスよく行っていく方針

① 設備投資

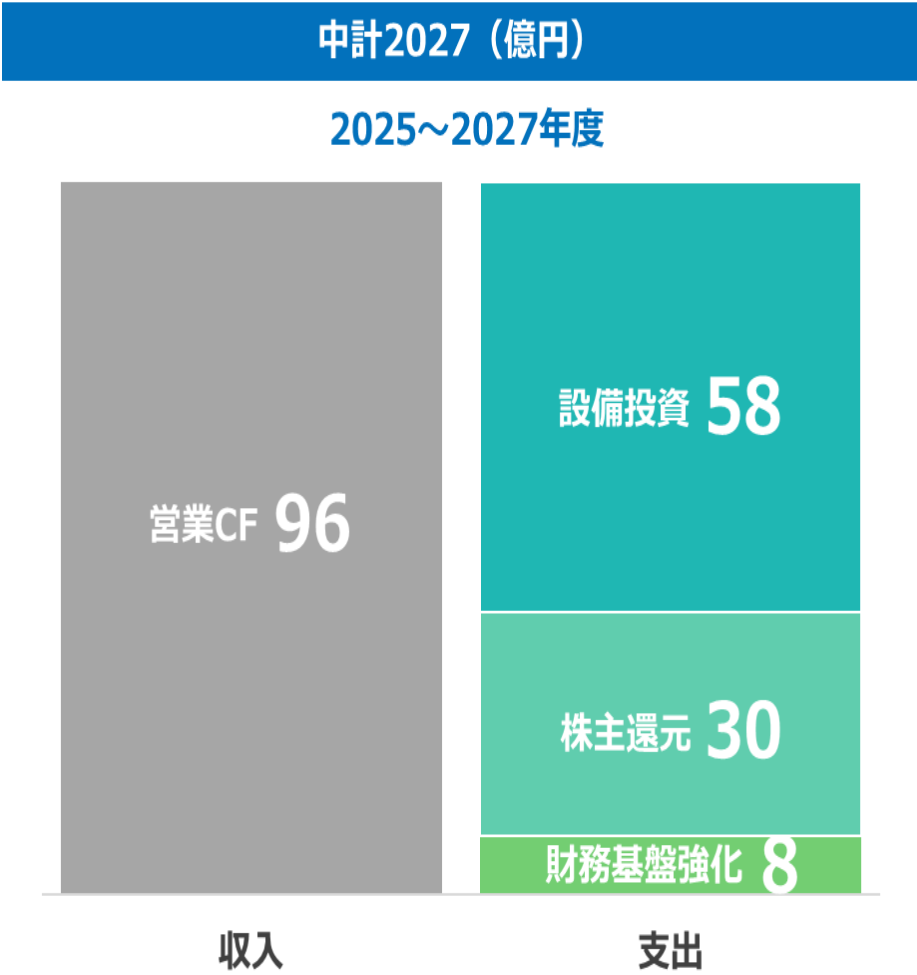
新製品およびコア事業への積極的な成長投資を推進

② 株主還元

配当基準をDOE 3%以上、配当性向35%目処として、機動的な自己株式取得等を含め、充実した株主還元を実施

	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 予想 (注)
1株当たり当期純利益 (円)	77.36	307.33	270.78	203.85
1株当たり純資産 (円)	2,043.56	2,463.43	2,863.49	2,971.23
1株当たり配当金 (円)	55.00	60.00	90.00	90.00
配当性向 (%)	71.1	19.5	33.2	44.2
純資産配当率(DOE) (%)	2.8	2.7	3.4	3.1
自己株式取得額 (百万円)	—	299	372	127

(注) 2025年11月10日公表の通期業績予想に基づく



株主還元

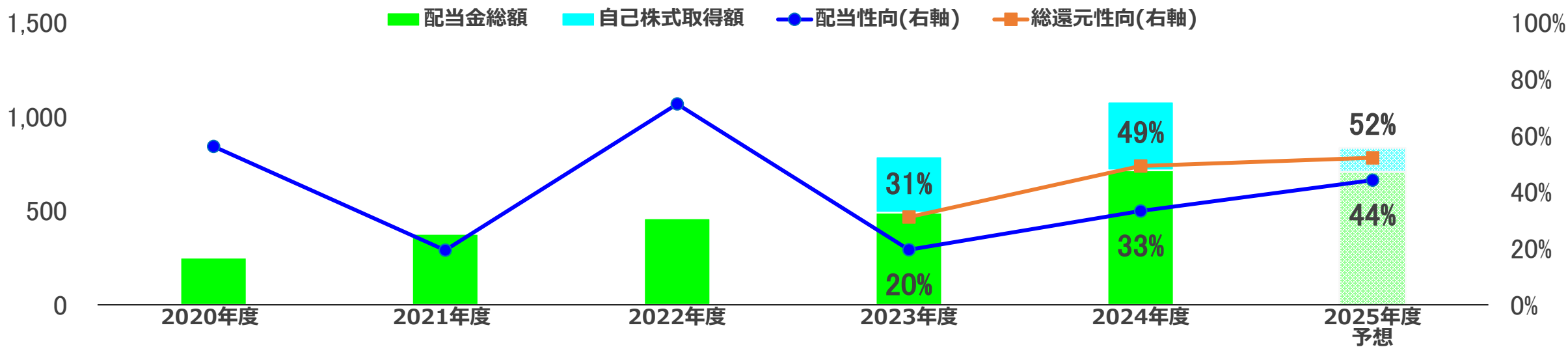
■基本方針

- ・株主還元をさらに強化し、資本効率の向上を図る

■年間配当金

- ・2025年度 期初予定通り前期と同額の1株当たり90円を予定

(単位：百万円)



	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 予想
1株当たりの年間配当金 (円)	30	45	55	60	90	90
1株当たりの当期純利益 (円)	53.47	232.89	77.36	307.33	270.78	203.85

4. トピックス

- ・ 成長市場に向けた事業領域の拡大
- ・ 新製品、新規事業の推進
- ・ Webサイトリニューアル
- ・ 「統合報告書2025」のご案内

成長市場に向けた事業領域の拡大

4つのドメインおよびネクストフロンティア（次世代成長市場）において、コア事業の進化と新製品創出に向けた経営資源を集中させ、事業領域の拡大を目指す



HOKURIoT™ (ホクリオ)※1 稼働状況を見える化し、安全管理を実現

IoTフォークリフトサービス

ForkMate™

※2

※3

製品特徴

屋外

GNSS

屋内

ビーコン発信機

見守り端末

IoTプラットフォーム

※3

測定デバイス

位置履歴閲覧

稼働率グラフ

センシングで車両を管理

ダッシュボードアプリ

- 後付けで容易に設置できるサービスを展開
- 危険運転を検知し、事故削減や安全運転指導に貢献
- 稼働状況を測定し、運転効率化を支援
- サブスクによるトータルソリューションサポート

※1/HOKURIoT™ (ホクリオ)は、当社のIoTソリューションを表す登録商標 (申請中) です
※2/本サービスは、三菱HCキャピタル株式会社と共同で開発し、提供しています
※3/ForkMate™は、フォークリフト向けのIoTソリューションサービスを表す登録商標 (申請中) です

事業機会

- ・ 事故防止に向けた安心、安全ニーズの高まり
- ・ 労働人口不足への対応、運用効率化

フォークリフトの事故を防ぎ、作業を効率的に運用できないだろうか…

事故防止に向けた安心・安全
労働人口不足への対応
が求められています。

これらのニーズに応えるため、
IoT
フォークリフト
サービス
ForkMate™
※3
を開発しました。

作業者が危険な運転をした際は、アラーム音が鳴り、事故を防止します。

冷凍庫など危険エリアの作業監視が可能になり、身の安全を守ります。

危険運転や稼働状況を可視化することができ、安全管理・効率運用への活用が可能となります。

このサービスがあれば、安心・安全な職場環境を実現できそうです！

これなら
あと数台は
減らせそう

大丈夫かー！
助けにきたぞ！

よかった
よかったです

当社Webサイトを是非ご覧ください。
決算や事業内容など、様々な情報を掲載しております。

[IRページはこちら](#)

決算や中期経営計画など

[当社Webページはこちら](#)



トップ 株主・投資家の皆さまへ

Investor Relations
株主・投資家の皆さまへ

Creating for the Future

モノ造りを通じて未来を開くイノベーションに挑戦し
心豊かな社会の発展に貢献します

社会に貢献し
世界の人々に共感される企業でありたい

トップメッセージ →

IRニュース
一覧を見る →

2025/08/08	決算短信	2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）	
2025/07/22	適時開示	論議制限付株式報酬としての自己株式の処分完了に関するお知らせ	
2025/06/27	適時開示	論議制限付株式報酬としての自己株式の処分に関するお知らせ	

中期経営計画

統合報告書

経営ビジョン

1分でわかるHDK

サステナビリティ

統合報告書を発行



中長期的な視点に立った経営戦略の実現を目指した取り組みを中心にまとめています。

CONTENTS

- STEP 0 1 価値創造ストーリー
- STEP 0 2 実行戦略と取り組み状況
- STEP 0 3 持続的な成長活動
- STEP 0 4 データセクション

当社ウェブサイトに掲載しております。是非ご覧ください。

<https://www.hdk.co.jp/ir/library/integrated/>

北陸電気工業株式会社

本資料に記載されている業績見通しにつきましては、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて当社が作成したものでありますが、経済環境や変動の激しいエレクトロニクス市場動向の変化など、様々な要因により実際の業績とは大きく異なる結果となる可能性があります。

そのため、本資料の業績見通しや目標数値等に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。
なお、本資料の利用の結果生じ得るいかなる損失に関しても、当社は一切責任を負いません。